

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月20日更新

事務事業名		水俣に学ぶ肥後っ子教室助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	鍛野 文昭	
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	中嶋 美智代	
	施策の柱	60	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	2227	
予算科目	会計一般	款10	項1	目3	事業連番10613	根拠法令	熊本県「水俣に学ぶ肥後っ子教室」実施要領 合志市補助金等交付規則		成果優先度評価結果	⑦
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成14年度から、「環境立県くまもと」づくりを目的とした熊本県環境基本計画に則り、学び参加する足元からの環境保全活動を推進し、次代を担う人づくりに資するため、また、環境再生に先進的な取り組みをしている水俣市へ小学5年生を訪問させ、環境を守ることの大切さを体験学習させるため、県の補助事業として始まった。事業実施要領の根本的な変更があっていないため、変化無し。環境教育の先進地である水俣市へ、全小学校の5年生を派遣し、語り部の話や体験学習を通じ環境を間持つことの大切さを学習させる。
【業務の流れ】	申請書受付事務、補助金交付決定事務、補助金支払い事務、実績確認事務、県への補助金申請事務、県への補助金請求事務、県への実績報告
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	市内全小学校の5年生を水俣市へ派遣する。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		水俣に学ぶ肥後っ子学習助成事業に名称を変更し、市内全小学校の5年生を水俣市へ派遣する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア エコセミナー事業に参加した児童数		前年度までは宿泊研修をした学校があったが、日帰りでの研修となったため、貸切バスの代金が減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
小学校児童		(単位) 人
		→ ア 小学校5年生
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
環境問題に対する関心を高めてもらう。		(単位) %
		→ ア 当該年度に11校計事業に参加し、環境問題を学習した児童の割合
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
対象児童全員の参加を目標としている。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込	
① 活動指標	ア 人		671	669	718	720	673	685	700	715	
② 対象指標	ア 人		671	669	718	720	673	685	700	715	
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	551	549	1,268	816	1,185	1,185	1,185	1,185
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	552	678	1,270	902	1,186	1,186	1,186	1,186
		(A) 事業費計	千円	1,103	1,227	2,538	1,718	2,371	2,371	2,371	2,371
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	3	1	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	130	200	17	200	17	17	17	17		
(B) 人件費計	千円	517	796	67	742	67	67	67	67		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,620	2,023	2,605	2,460	2,438	2,438	2,438	2,438		

事務事業名	水俣に学ぶ肥後っ子教室助成事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 通常どおり児童が登校し、参加することが考えられる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 県の実施要綱に基づき行っているため、事業目的は達成しており成果の向上余地はこれ以上ない。ただし、現状を維持していくためには事業を継続していく必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 県の補助事業実施要綱に基づいて事業を行っているため、統廃合はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 県の補助事業実施要綱に基づいて事業を行っているため、削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在も最小限度の事務量である。委託するような事務量ではない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 教育の一環として行っている事業であり、特定の利益を生むものではない。受益者負担は課していない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民や地域・団体への移行はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

対象児童を無事参加させることができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					